

令和5年度
9月入学試験

足利大学大学院工学研究科

【修士課程】【博士後期課程】

学生募集要項

足利大学

工学研究科 募集要項

修士課程 < 9月入学試験 >

目 次

アドミッション・ポリシー (入学者受入方針) . . .	2
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 入試日程	3
4. 出願方法	3～4
5. 選抜方法	4
6. 試験科目及び試験時間	4～5
7. 試験場	6
8. 合格発表	6
9. 納付金	6
10. 安全保障輸出管理について	6
11. その他	6～7
特待生制度	
出願資格の認定について	8
社会人入試について	9
私費外国人留学生入試について	10～11
授業科目名及び担当教員表	12～14
(2023 年度実績)	

博士後期課程 15 頁以降に掲載

工学研究科修士課程学生募集要項

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【大学院 修士課程】

本学大学院修士課程は、学部教育を基礎として、さらに高度な教育と研究を通じ、問題解決能力に優れた高度専門職業人の育成を目的としています。そのために、本大学院の教育目標を理解し、優れた資質を有し、学問に対する意欲ある人を国内外に求めます。

1. 募集人員

研究科名	専攻名	専修名	募集人員
工学研究科	情報・生産工学専攻	再生可能エネルギー・環境工学 機械システム工学 電気電子工学 システム情報工学	若干名
	建設・環境工学専攻	建設工学 建築都市デザイン学	若干名

2. 出願資格

< 9月入学 >

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年9月20日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和5年9月20日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年9月20日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び令和5年9月20日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び令和5年9月20日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校）を修了した者及び令和5年9月20日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者

- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者（入学資格審査は、p.8の「出願資格の認定について」のとおり）
注：出願資格（3）、（4）及び（6）による出願の場合は、あらかじめ出願資格の確認が必要となりますので、教務課（TEL 0284-22-5733）にお問い合わせください。

3. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
令和5年 6月12日(月) } 6月22日(木)	7月4日(火)	7月13日(木) 10:00	入学金・授業料納入期間 7月14日(金) } 7月26日(水)

※入学手続期間内に学費（入学金および授業料）を納入し、手続書類を提出してください。

※入学辞退の場合は、令和5年8月31日（木）正午までに入学辞退届を提出すれば、入学金を除く納付金を返還します。詳しくは教務課にお問い合わせください。

4. 出願方法

- (1) 出願にあたっては、次の書類を一括して出願締切日までに教務課窓口へ提出するか郵送すること。窓口受付時間は、土曜・日曜・祝祭日を除き9時から16時まで。郵送の場合は、書留郵便とする。（締切日必着）

(2) 出願書類

- ①**志 願 票**：本学所定の志願票を使用する。
- ②**卒業(見込み)証明書**：出身大学等の学長または学部長が作成したもの
- ③**成績証明書**：出身大学等の学長又は学部長が作成したもの
- ④**志望理由書**：本学所定のもの。 *志願者本人の手書きとする。
- ⑤**写 真**：2枚（縦4cm×横3cm）を志願票A、Bに貼付して提出する。
- ⑥**健康診断書**：本学所定のもの。出願日3ヵ月以内に受診し作成されたもの。
（但し、本学学部卒業者が引き続いて大学院に入学する場合は不要）
- ⑦**検 定 料**：30,000円。本学所定の払込依頼書を使用し銀行に払い込み、大学提出用を志願票Cに貼付して提出する。
- ⑧**そ の 他**：外国人は、住民票（在留資格、在留期間の記載されたもの）、経費支弁書、パスポートのコピー（氏名、旅券番号欄が記載されているページ）を提出する。また、日本の教育機関（日本語学校等）に在籍している（していた）場合は、在籍証明書、成績証明書及び出席状況調査票を提出すること。

（注）出願書類は原本を提出してください。また、受理した書類及び検定料は、返還できません。

※他大学（留学、社会人含む）からの受験希望者の方へお願い

本学では、本大学院を受験するに当たり、入学希望専攻の教員との事前打ち合わせを必要とします。受験を希望される方は、必ず、入学希望専攻に連絡をとり、打ち合わせてください。打ち合わせの際には、履歴書（様式任意）を持参してください。

なお、ご不明な点は教務課までお問い合わせください。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、成績証明書、面接及び健康診断書等により総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間

情報・生産工学専攻

科目・時間 専攻	試 験 科 目			
	専門科目	10:00～12:00	13:00～14:00	14:40～
情報・生産 工学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー・環境工学専修 以下の(1)～(4)の内2科目選択 各50点 (1) 材料力学 (2) 機械力学 (3) 再生可能エネルギー (4) 熱工学 ・機械システム工学専修 以下の(1)～(5)の内2科目選択 各50点 (1) 流体力学 (2) 機械力学 (3) 金属材料 (4) 材料力学 (5) 熱工学 ・電気電子工学専修 以下の(1)～(2)は必須、各30点 (1) 電気回路 (2) 電磁気学 以下の(3)～(6)の内1科目選択 40点 (3) 物性材料工学 (4) 電気機器工学 (5) 電力工学 (6) 制御工学 		英語100点 (各専修)	面接 (各専修)

	<p>・システム情報工学専修</p> <p>以下の(1)は必須、50点</p> <p>(1) プログラミング</p> <p>以下の(2)～(5)の内1科目選択 50点</p> <p>(2) アルゴリズムとデータ構造</p> <p>(3) コンピュータアーキテクチャ</p> <p>(4) データサイエンス</p> <p>(5) 人工知能</p>		
--	---	--	--

※試験当日は、試験開始 15 分前までに指定された控室に入室してください。

建設・環境工学専攻

科目・時間 専攻	試 験 科 目				
	専門科目	10:00～12:00	13:00～14:00	14:40～	
建設・環境 工学専攻	<p>※専門科目は、受験者ごとに指定される科目の試験問題(必須)1科目と指定された科目以外の試験問題1科目の合計2科目とする。ただし、建築構造工学と土木構造工学については、どちらか1科目のみしか受験できないこととする。</p> <p>・建設工学専修および建築都市デザイン学専修</p> <p>(1) 建築構造工学</p> <p>(2) 土木構造工学</p> <p>(3) 材料施工学</p> <p>(4) 土質工学</p> <p>(5) 水理学</p> <p>(6) 建設計画学</p> <p>(7) 建築環境・設備学</p> <p style="text-align: right;">各 50 点</p>			英語 100 点 (各専修)	面接 (各専修)

※試験当日は、試験開始 15 分前までに指定された控室に入室してください。

7. 試験場

〒326-8558 栃木県足利市大前町 268-1
足利大学 大前キャンパス

8. 合格発表

令和5年7月13日(木) 10:00

本学のホームページ及び本学2号館と7号館の間にある「大学院掲示板」にて発表すると同時に本人宛に通知します。(電話による照会には応じません。)

9. 納付金

1年次に必要な納付金

	入学手続き時	前 期	後 期
入 学 金	200,000円		
授 業 料		550,000円	550,000円

注：本学学部卒業者が引き続いて大学院に入学する場合の入学金は、半額とする。

※ 不明な点は、教務課（TEL 0284-22-5733）にお問い合わせください。

10. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等へ教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

11. その他

特待生制度

本学大学院修士課程は、学部教育を基礎として、さらに高度な教育と研究を通じ、問題解決能力に優れた高度専門職業人の育成を目指しています。そのため、本学や他大学の卒業生等から学業人物ともに優秀で、修士課程における研究活動に相当と認められる者を選抜し、経済的負担を軽減し、研鑽の実を挙げさせることを目的とした特待生制度を設けています。

<特待生制度>

対 象 者	足利大学工学部から引き続き修士課程に進学した卒業生 <u>(*「内部推薦」受験者を対象とする)</u>	足利大学工学部卒業生及び本学以外の大学等(外国の大学含む。)を卒業した者	特待生ではない本学修士課程の在學生で、1年次の学業成績が特に優秀な者(最終学年のみ)
選考方法	<p><特待生選考試験の実施></p> <p>①書類選考: 本学大学院入学試験等の結果を踏まえ、修士課程専攻主任の推薦により各専攻で1名決定する。</p> <p>②筆記試験: ①の書類選考で選抜されなかった者が対象で、本学大学院入学試験時の出願書類及び筆記試験の結果を踏まえて決定する。</p>	書類選考: 本学大学院入学試験等の結果を踏まえ、受入れ指導教員の推薦により決定する。	書類選考: 指導教員が学業成績、研究内容等を踏まえ、指導教員の推薦により決定する。
定 員	<p>①書類選考: 特待生 A: 各専攻1人</p> <p>②筆記試験: 両専攻合わせて 特待生 A: 3人以内 特待生 B: 7人以内</p>	若干名	若干名
内 容	<p>特待生 A: 年間授業料の半額相当額を支給する。</p> <p>特待生 B: 年間授業料の1/4相当額を支給する。</p> <p>(*私費外国人留学生で授業料等の減免を受けた者については、減免額を差し引いた金額を算出の基礎とする。)</p>	<p>特待生 A: 年間授業料の半額相当額を支給する。</p> <p>特待生 B: 年間授業料の1/4相当額を支給する。</p> <p>(*私費外国人留学生で授業料等の減免を受けた者については、減免額を差し引いた金額を算出の基礎とする。)</p>	<p>特待生 A: 年間授業料の半額相当額を1年間支給する。</p> <p>(*私費外国人留学生で授業料等の減免を受けた者については、減免額を差し引いた金額を算出の基礎とする。)</p>
特待生の義務	<p>特待生は、大学院在学中にFE試験(Fundamentals of Engineering Examination)のことであり、日本PE・FE試験協議会(JPEC)が全米試験協議(NCEES)との協定に基づき実施する試験をいう。)を受験し、試験結果の写しを提出しなければなりません。</p>		
特待生の継続	<p>特待生の継続には、以下の条件のいずれかを満たさなければなりません。</p> <p>(1) FE試験に合格すること。(合格証明書の写しを提出すること。)</p> <p>(2) TOEIC試験において580点以上を獲得すること。 (Official Score Certificate(公式認定証)の写しを提出すること。)</p> <p>(3) 学術論文誌に論文が掲載されること。(論文が掲載されたページの写しを提出すること。)</p> <p>(4) 学会等において研究発表すること。(学会等のプログラム等で氏名、発表題目等が記載されたページの写しを提出すること。)</p> <p>(5) 地域社会貢献活動等において顕著な功績を上げたこと。(関係書類の写しを提出すること。)</p>		

出願資格の認定について

本学大学院では、大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた場合には本大学院への出願を受け付けております。

1. 出願資格審査が必要な場合

●学生募集要項 p.2～p.3「修士課程 出願資格」の（9）又は p.16～p.17「博士後期課程 出願資格」の（7）の資格により出願する場合

2. 出願資格審査の申請方法

- ① 出願資格審査申請書（本学所定のもの）
- ② 志願理由書（本学所定のもの）
- ③ 最終出身校の卒業（見込）証明書または在籍（在学）証明書
- ④ 最終出身校の成績証明書

※上記以外に本学が必要とする書類がある場合は、個別にご連絡いたします。

3. 提出期間・時間・提出場所

提出期間：令和5年6月7日（水）～6月9日（金） 9：00～16：00

提出場所：足利大学 教務課

※郵送の場合は、「書留速達」にて最終日までに必着。

4. 出願資格審査日

各専攻によって異なります。専攻の指示に従ってください。

5. 審査結果の発表

本人宛に郵送にて通知します。

6. 審査料

審査料はいただきません。本試験において、本学所定の検定料がかかります。

7. 審査方法

口頭試問（面接）・提出書類等に基づき審査いたします。

問い合わせ（送付先）

〒326-8558 栃木県足利市大前町 268-1

足利大学 教務課 大学院係

TEL：0284-22-5733

FAX：0284-62-0738

社会人入試について

1. 募集人員

各専攻若干名

2. 出願資格

各種研究機関、教育機関、企業等に2年以上勤務する技術者等で、次のいずれかの条件を満たしている者

- ①大学を卒業した者
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校）を修了した者
- ⑧文部科学大臣の指定した者
- ⑨本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者（入学資格審査は、p.8の「出願資格の認定について」のとおり）

3. 出願書類

志願票、卒業証明書、成績証明書、志望理由書、健康診断書、所属長の出願承諾書（様式任意）等

4. 選抜方法

入学者の選抜は、面接（口述試験を含む）及び志望理由書、成績証明書等の出願書類により行います。

5. 試験科目及び試験時間

科目・時間	試験科目
専攻	14:40～
全専攻	面接

※試験当日は、試験開始15分前までに指定された控室に入室してください。

私費外国人留学生入試について

1. 募集人員

各専攻若干名

2. 出願資格

日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法において、大学院入試に支障のない在留資格「留学」（合格後「留学」へ変更のできる在留資格）を有する者で、出願資格（p.2～p.3 記載）のいずれかの条件を満たしている者

注：在留資格「留学」を保有していない者は、入学試験を受験する目的とした日本入国にあたっては「短期滞在」ビザを自国の在外日本国公館で取得し、入学試験合格後、在留資格認定証明書交付申請手続きを行い、在留資格「留学」を取得すること。また、在留資格「家族滞在」など、他の在留資格を保有する者は、在留資格変更申請手続きを行うこと。

3. 出願書類

志願票、卒業（見込み）証明書、成績証明書、志望理由書、健康診断書、経費支弁書、住民票（在留資格、在留期間の記載されたもの）、パスポートのコピー（氏名、旅券番号が記載されているページ）、日本の教育機関（日本語学校等）に在籍している（していた）場合は、在籍証明書、成績証明書及び出席状況調査票を提出すること。

注：出願書類は原本を提出してください。また、受理した書類は、返還できません。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、本学工学部から引き続き本大学院への進学希望で内部推薦以外の者及び本学を卒業した者で社会人入試の出願条件に該当しない者は、学力試験、成績証明書、面接等により選抜を行います。外部から本大学院に出願される者は、面接（口述試験を含む）及び志望理由書、成績証明書等の出願書類により行います。

5. 試験科目及び試験時間

試験科目及び試験時間		
試験時間	10:00～	14:40～
試験科目	学力試験・面接 (試験科目は p.4～p.5 に記載)	面接
対象者	①内部推薦者を除く本学工学部からの出願者 ②本学を卒業した者で社会人入試の出願条件に該当しない者	外部出願者

※試験当日は、試験開始 15 分前までに指定された控室に入室してください。

6. 私費外国人留学生の学費減免措置について

私費外国人留学生に対しては、入学者選抜試験における成績等に基づき学費減免審査を実施し、認定された者に学費減免措置を行います。

入学手続時納入金

入 学 金	200,000 円
授 業 料 (令和5年度後期)	370,000 円
合 計	570,000 円

令和6年度前期以降の半期学費

授 業 料	370,000 円
合 計	370,000 円

*減免制度（各学期で180,000円の授業料減免）については、出席状況や成績によって適用にならない場合もあります。

令和5年度 修士課程 授業科目及び担当教員表

【情報・生産工学専攻】

専攻	専修	授業科目	単位数		週時間数及び学期				摘 要 (担当教員)	
			必修	選択	1年		2年			
					前期	後期	前期	後期		
情報 ・ 生産 工学	再生可能エネルギー・環境工学	風力エネルギー特論 注)		2	2					
		太陽エネルギー特論		2	2				教授 博士(工学) 中條 祐一	
		環境工学特論		2	2				教授 博士(工学) 根本 泰行	
		再生可能エネルギー産業特論		2	2				准教授 博士(工学) 出井 努	
		バイオエネルギー特論					2		准教授 博士(工学) 出井 努	
		特別演習実験	4		1	1	3	3	教授 博士(工学) 中條 祐一	
									教授 博士(工学) 安藤 康高	
								教授 博士(工学) 根本 泰行		
	特別研究	8		1	1	3	3	教授 博士(工学) 中條 祐一		
								教授 博士(工学) 安藤 康高		
								教授 博士(工学) 根本 泰行		
	機械システム工学	流体工学特論		2	2				教授 博士(工学) 櫻井 康雄	
		流体機械特論		2		2			教授 博士(工学) 櫻井 康雄	
		表面改質工学特論		2		2			教授 博士(工学) 安藤 康高	
		材料工学特論		2		2			教授 博士(工学) 小林 重昭	
		熱工学特論		2	2				教授 博士(工学) 松下 政裕	
		精密加工工学特論 注)		2		2				
		機械力学特論		2		2			講師 博士(工学) 飯野 光政	
		非弾性挙動特論		2		2			教授 博士(工学) 中條 祐一	
		煙火弾道学と力学特論		2	2				教授 博士(工学) 丁 大玉	
		燃焼・爆発工学特論		2	2				教授 博士(工学) 丁 大玉	
		熱流体計測技術特論		2		2			教授 博士(工学) 丁 大玉	
		特別演習実験	4		1	1	3	3	教授 博士(工学) 中條 祐一	
									教授 博士(工学) 櫻井 康雄	
									教授 博士(工学) 安藤 康高	
									教授 博士(工学) 小林 重昭	
								教授 博士(工学) 丁 大玉		
	特別研究	8		1	1	3	3	教授 博士(工学) 中條 祐一		
								教授 博士(工学) 櫻井 康雄		
								教授 博士(工学) 安藤 康高		
								教授 博士(工学) 小林 重昭		
								教授 博士(工学) 丁 大玉		
電気電子工学	電気材料工学特論		2	2				非常勤 博士(理学) 住田 成和		
	セラミック材料工学特論		2		2			非常勤 博士(理学) 住田 成和		
	誘電体工学特論		2	2				教授 博士(工学) 土信田 豊		
	物性物理学特論		2		2			教授 博士(工学) 土信田 豊		
	通信工学特論 注)		2		2					
	無線システム工学特論 注)		2	2						
	制御工学特論		2	2				准教授 博士(工学) 上田 伸治		
	数理工学特論		2		2			准教授 博士(工学) 上田 伸治		
情報工学特論		2		2			非常勤 博士(工学) 辻 陽一			

情報 生 産 工 学	電気 電 子 工 学	パワーエレクトロニクス特論 注)	2	2					
		電力用半導体デバイス工学特論 注)	2		2				
		電磁界解析特論		2	2				教 授 博士(工学) 土井 達也
		磁気応用工学特論		2		2			教 授 博士(工学) 土井 達也
		電気機器工学特論		2	2				教 授 博士(工学) 西 剛伺
		モデルベース設計特論		2		2			教 授 博士(工学) 西 剛伺
		電力系統工学特論		2	2				教 授 博士(工学) 横山 和哉
		超伝導工学特論		2		2			教 授 博士(工学) 横山 和哉
		特別演習実験	4		1	1	3	3	教 授 博士(工学) 土信田 豊
									教 授 博士(工学) 土井 達也
								教 授 博士(工学) 西 剛伺	
								教 授 博士(工学) 横山 和哉	
	特別研究	8		1	1	3	3	教 授 博士(工学) 土信田 豊	
								教 授 博士(工学) 土井 達也	
								教 授 博士(工学) 西 剛伺	
								教 授 博士(工学) 横山 和哉	
	シ ス テ ム 情 報 工 学	コンピュータ可視化特論		2	2				教 授 博士(理学) 木村 彰徳
		コンピュータサイエンス特論		2		2			教 授 博士(理学) 木村 彰徳
		人工知能特論		2	2				教 授 博士(工学) 平石 広典
		認知工学特論		2		2			教 授 博士(工学) 平石 広典
データサイエンス特論			2	2				准教授 博士(情報科学) 廣川 雄一	
計算科学特論			2		2			准教授 博士(情報科学) 廣川 雄一	
データアナリティクス特論			2	2				准教授 博士(理学) 塚越 崇	
天文データ科学特論			2		2			准教授 博士(理学) 塚越 崇	
特別演習実験		4		1	1	3	3	教 授 博士(理学) 木村 彰徳	
								教 授 博士(工学) 平石 広典	
							准教授 博士(情報科学) 廣川 雄一		
特別研究	8		1	1	3	3	教 授 博士(理学) 木村 彰徳		
							教 授 博士(工学) 平石 広典		
							准教授 博士(情報科学) 廣川 雄一		
関 連 科 目	研究者倫理	2			2			教 授 博士(工学) 櫻井 康雄	
	応用数学特論Ⅰ 注)		2	2					
	応用数学特論Ⅱ 注)		2		2				
	応用物理学特論Ⅰ		2	2				教 授 博士(理学) 朝光 敦	
	応用物理学特論Ⅱ		2		2			教 授 博士(理学) 高橋 大輔	
	特別インターンシップ		2						

●専修に属する特別演習実験・特別研究及び関連科目の研究者倫理を必修とし、選択科目を含めて合計30単位以上を修得する。

注) 開講せず

令和5年度 修士課程 授業科目及び担当教員表

【建設・環境工学専攻】

専攻	専修	授業科目	単位数		週時間数及び学期				摘 要 (担当教員)		
			必修	選択	1年		2年				
					前期	後期	前期	後期			
建設 ・ 環境 工学	建設工学	鉄筋コンクリート工学特論 注)		2							
		先端建築構造特論		2	2				教授 博士(工学) 仁田 佳宏		
		地盤工学特論 注)		2							
		固体力学特論		2		2			教授 博士(工学) 末武 義崇		
		構造制御特論		2		2			教授 博士(工学) 仁田 佳宏		
		風力発電工学特論		2		2			教授 博士(工学) 山口 敦		
		構造物の振動学特論		2	2				准教授 博士(工学) 王 欣		
		土質工学特論		2	2				教授 博士(工学) 西村 友良		
		水文学特論		2		2			教授 博士(工学) 長尾 昌朋		
		流体力学特論		2		2			教授 博士(工学) 長尾 昌朋		
		建築材料特論		2		2			講師 博士(工学) 中村 航		
		建築施工特論 注)		2							
		鉄筋コンクリート構造工学特論 ※		2	2				教授 博士(工学) 宮澤 伸吾		
	コンクリート工学特論		2	2				教授 博士(工学) 宮澤 伸吾			
	特別演習実験		4		1	1	3	3	教授 博士(工学) 末武 義崇 教授 博士(工学) 長尾 昌朋 教授 博士(工学) 西村 友良 教授 博士(工学) 仁田 佳宏 教授 博士(工学) 宮澤 伸吾		
		特別研究		8		1	1	3	3	教授 博士(工学) 末武 義崇 教授 博士(工学) 長尾 昌朋 教授 博士(工学) 西村 友良 教授 博士(工学) 仁田 佳宏 教授 博士(工学) 宮澤 伸吾	
			建築都市デザイン学	建築物理特論		2	2				教授 博士(工学) 齋藤 宏昭
				建築計画特論 注)		2		2			
				建築史特論		2	2				教授 博士(工学) 渡邊 美樹
				建築論特論 注)		2					
環境デザイン特論		2			2			教授 博士(工学) 室 恵子			
意匠設計特論		2		2				教授 博士(工学) 渡邊 美樹			
都市デザイン特論 注)		2									
都市計画特論		2		2				准教授 博士(工学) 藤谷 英孝			
建築環境工学特論		2		2				教授 博士(工学) 室 恵子			
建築設備学特論		2			2			教授 博士(工学) 齋藤 宏昭			
特別演習実験		4			1	1	3	3	教授 博士(工学) 渡邊 美樹 教授 博士(工学) 齋藤 宏昭 教授 博士(工学) 室 恵子		
	特別研究			8		1	1	3	3	教授 博士(工学) 渡邊 美樹 教授 博士(工学) 齋藤 宏昭 教授 博士(工学) 室 恵子	
		研究者倫理			2		2			教授 博士(工学) 櫻井 康雄	
関連科目	応用数学特論Ⅰ 注)		2	2							
	応用数学特論Ⅱ 注)		2		2						
	応用物理学特論Ⅰ		2	2				教授 博士(理学) 朝光 敦			
	応用物理学特論Ⅱ		2		2			教授 博士(理学) 高橋 大輔			
	特別インターンシップ		2								

●専修に属する特別演習実験・特別研究を必修とし、授業科目を選択として、合計30単位以上を修得する。

●「鉄筋コンクリート構造工学特論」と「コンクリート工学特論」は隔年交互に開講する。

注) 開講せず

※令和5年度 休講科目

工学研究科 募集要項

博士後期課程 <9月入学試験>

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	16
1. 募集人員	16
2. 出願資格	16～17
3. 入試日程	17
4. 出願方法	17
5. 選抜方法	18
6. 試験科目及び試験時間	18
7. 試験場	18
8. 合格発表	18
9. 納付金	18
10. その他	18
社会人入試について	19
外国人留学生入試について	19
授業科目名及び担当教員表	20～21
(2023年度実績)	

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【大学院 博士後期課程】

博士後期課程では、深い専門知識を備え、広い視野を持ち、自由な発想で総合的に問題を解決する能力に優れた、特徴ある高度専門職業人及び研究者の育成を目的としています。そのために、自ら課題を設定して探求するための十分に優れた資質を備え、専門分野で積極的に研究を行う意欲ある人を国内外に求めます。さらに、すでに専門職業に従事し、十分な経験を基にさらに高度な専門的能力を得たいと願う社会人も積極的に受け入れたいと考えております。

1. 募集人員

研究科名	専攻名	専修名	募集人員
工学研究科	情報・生産工学専攻	情報システム・電気電子工学 生産・エネルギー変換工学	若干名
	建設・環境工学専攻	建設工学 建築都市デザイン学	若干名

2. 出願資格

<9月入学>

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者及び令和5年9月20日までに修士の学位を授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月20日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月20日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月20日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月20日までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力が

あると認めた 24 歳以上の者（入学資格審査は p.8 の「出願資格の認定について」のとおり）
 注：出願資格（2）、（3）及び（6）による出願の場合は、あらかじめ出願資格の確認が必要となりますので、教務課（TEL 0284-22-5733）にお問い合わせください。

3. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
令和5年 6月12日(月) } 6月22日(木)	7月5日(水)	7月13日(木) 10:00	入学金・授業料納入期間 7月14日(金) } 7月26日(水)

※入学手続期間内に学費（入学金および授業料）を納入し、手続書類を提出してください。

※入学辞退の場合は、令和5年8月31日（木）正午までに入学辞退届を提出すれば、入学金を除く納付金を返還します。詳しくは教務課にお問い合わせください。

4. 出願方法

(1) 出願にあたっては、次の書類を一括して出願締切日までに教務課の窓口へ提出するか郵送すること。窓口受付時間は、土曜・日曜・祝祭日を除き9時から16時まで。郵送の場合は、書留郵便とする。（締切日必着）

(2) 出願書類

- ① **志 願 票**：本学所定の志願票を使用する。
- ② **修士課程修了(見込み)証明書**：出身大学長または工学研究科長、学部長が作成したもの。
- ③ **成績証明書**：出身の大学長または工学研究科長、学部長が作成したもの。
- ④ **修士論文（または途中までの成果）の概要**：A4判用紙を使用し、修士課程修了者の場合は修士論文の内容を、修士課程修了見込み者は途中までの成果の内容を2,000字（英語の場合は500語）以内に要約した概要を提出する。
 その他、原則として修士論文（または途中までの成果）の写し、または公表論文の写しを2部提出する。
- ⑤ **研究計画書**：A4判の用紙を使用し、1,000字（英語の場合は300語）以内とする。
- ⑥ **推 薦 書**：本学所定のもの。
 社会人として現職のまま入学する場合は所属長の承諾書（様式任意）
- ⑦ **写 真**：2枚（縦4cm×横3cm）を志願票A、Bに貼付して提出する。
- ⑧ **健康診断書**：本学所定のもの。出願日3ヵ月以内に受診し作成されたもの。
 （但し、本学大学院修了者が引き続いて博士後期課程に入学する場合は不要）
- ⑨ **検 定 料**：30,000円。本学所定の払込依頼書を使用し銀行に払い込み、大学提出用を志願票Cに貼付して提出する。
- ⑩ **そ の 他**：外国人は、住民票（在留資格、在留期間の記載されたもの）、経費支弁書、パスポートのコピー（氏名、旅券番号欄が記載されているページ）を提出する。また、日本の教育機関（日本語学校等）に在籍している（していた）場合は、在籍証明書、成績証明書及び出席状況調査票を提出すること。

(注) 出願書類は原本を提出してください。また、受理した書類及び検定料は、返還できません。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、英語及び口答または筆答試験並びに調査書、健康診断書等により総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間

専攻	科目・時間	試験科目	
		10:00～12:00	13:00～
情報・生産工学専攻		英語	口答 または 筆答試験
建設・環境工学専攻		英語	口答 または 筆答試験

※試験当日は、試験開始15分前までに指定された控室に入室してください。

7. 試験場

〒326-8558 栃木県足利市大前町 268-1
足利大学 大前キャンパス

8. 合格発表

令和5年7月13日(木) 10:00

本学のホームページおよび本学2号館と7号館の間にある「大学院掲示板」にて発表すると同時に本人宛に通知します。(電話等による照会には応じません。)

9. 納付金

1年次に必要な納付金

	入学手続き時	前期	後期
入学金	200,000円		
授業料		505,000円	505,000円

注：本学修士課程修了者が引き続いて博士後期課程に入学する場合の入学金は、免除する。

※ 不明な点は、教務課 (TEL 0284-22-5733) にお問い合わせください。

10. その他

- 応募に際しては、希望する専攻の指導教員からあらかじめガイダンスを受けておくことが望ましい。

社会人入試について

1. 募集人員

各専攻若干名

2. 社会人の入試及び選考方法

- ①出願資格 (p. 16～p. 17 記載) のいずれかに該当し、大学・研究所等において、2年以上職務に就いているものに対しては、社会人入学試験を行う。
- ②社会人入学試験は、英語及び口答または筆答試験により行うが、基礎学力と経験による実績を参考し実務経験を評価の資料として重視する。

3. 履修方法

- ①指導教員が認めた場合は、学外で特別研究に関する研究を行うことができる。
- ②休学、復学、退学、再入学を弾力的に運用し、標準年限以上にわたる期間においての学位の取得を可能とする。
- ③その他履修の詳細については、希望する専攻の指導教員からあらかじめガイダンスを受けておくことが望ましい。

外国人留学生入試について

1. 募集人員

各専攻若干名

2. 外国人の留学生の入試及び選考方法

- ①日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法において、大学院入試に支障のない在留資格「留学」(合格後「留学」へ変更のできる在留資格)を有する者で、出願資格 (p. 16 記載) のいずれかの条件を満たしている者
- ②外国人留学生入学試験は、英語及び口答または筆答試験により行うが基礎学力を重視し、日本語の代わりに英語の使用も可とする。ただし、英語を母国語とする場合は、英語の試験は課さない。
- ③通常の出願書類の他に住民票 (在留資格、在留期間の記載されたもの)、経費支弁書、パスポートのコピー (氏名、旅券番号欄が記載されているページ) を提出する。
- ④日本の教育機関 (日本語学校等) に在籍している (していた) 場合は、在籍証明書、成績証明書及び出席状況調査票を提出すること。

3. 私費外国人留学生の学費減免措置について

私費外国人留学生に対しては、入学者選抜試験における成績等に基づき学費減免審査を実施し、認定された者に学費減免措置を行います。

入学手続時納入金

入 学 金	200,000 円
授 業 料 (令和5年度後期)	340,000 円
合 計	540,000 円

令和6年度前期以降の半期学費

授 業 料	340,000 円
合 計	340,000 円

*減免制度 (各学期で 165,000 円の授業料減免) については、出席状況や成績によって適用にならない場合もあります。

令和5年度 博士後期課程 授業科目及び担当教員表

情報・生産工学専攻

専攻	専修	授業科目	単位数		摘要 (担当教員)		
			必修	選択			
情報・生産工学専攻	情報システム・電気電子工学	ヒューマンインタフェース特論		2	教授	博士(工学)	平石 広典
		コンピュータシミュレーション特論		2	教授	博士(理学)	木村 彰徳
		磁気工学特論		2	教授	博士(工学)	土井 達也
		応用超伝導特論		2	教授	博士(工学)	横山 和哉
		圧電工学特論		2	教授	博士(工学)	土信田 豊
		無機機能材料特論 注)		2			
		電磁機器工学特論 注)		2			
		高周波インバータ特論 注)		2			
		特別研究	6		教授	博士(工学)	平石 広典
				教授	博士(工学)	横山 和哉	
	生産・エネルギー変換工学	表面工学特論		2	教授	博士(工学)	安藤 康高
		構造不安定現象特論		2	教授	博士(工学)	中條 祐一
		油圧システムダイナミクス特論		2	教授	博士(工学)	櫻井 康雄
		エネルギー・環境工学特論		2	教授	博士(工学)	根本 泰行
		粒界・界面工学特論		2	教授	博士(工学)	小林 重昭
		エネルギー変換工学特論 注)		2			
		連続体力学特論 注)		2			
		特別研究	6		教授	博士(工学)	安藤 康高
				教授	博士(工学)	中條 祐一	
			教授	博士(工学)	櫻井 康雄		
			教授	博士(工学)	根本 泰行		
			教授	博士(工学)	小林 重昭		
共通	専修	情報・生産工学セミナー		1	教授	博士(工学)	根本 泰行
					教授	博士(工学)	横山 和哉

※専修に属する特別研究6単位を必修とし、指導教員の指示のもと、セミナーを含め授業科目3科目6単位以上合計12単位以上を修得する。

注)開講せず

令和5年度 博士後期課程 授業科目及び担当教員表

建設・環境工学専攻

専攻	専修	授業科目	単位数		摘要 (担当教員)	
			必修	選択		
建設・環境工学専攻	建設工学	鉄筋コンクリート構造特論 (注)		2		
		地震防災工学特論		2	教授	博士(工学) 仁田 佳宏
		建設基礎工学特論 (注)		2		
		数値弾塑性力学特論		2	教授	博士(工学) 末武 義崇
		建築材料学特論 (注)		2		
		建設施工学特論 (注)		2		
		土木材料学特論		2	教授	博士(工学) 宮澤 伸吾
		建設システム特論 (注)		2		
		流体波動特論		2	教授	博士(工学) 長尾 昌朋
		地盤環境工学特論		2	教授	博士(工学) 西村 友良
		特別研究		6		教授
					教授	博士(工学) 末武 義崇
					教授	博士(工学) 西村 友良
	建築都市デザイン学	建築設計計画論 (注)		2	教授	博士(工学) 渡邊 美樹
		居住環境計画特論 (注)		2		
		建築歴史意匠特論		2	教授	博士(工学) 渡邊 美樹
		都市計画史特論 (注)		2		
		環境設備工学特論		2	教授	博士(工学) 齋藤 宏昭
		特別研究		6		教授
				教授	博士(工学) 齋藤 宏昭	
専修共通	建設・環境工学セミナー			1	教授	博士(工学) 末武 義崇
					教授	博士(工学) 西村 友良
					教授	博士(工学) 宮澤 伸吾
					教授	博士(工学) 渡邊 美樹
					教授	博士(工学) 齋藤 宏昭

※専修に属する特別研究6単位を必修とし、指導教員の指示のもと、セミナーを含め授業科目3科目6単位以上合計12単位以上を修得する。

注) 令和5年度 休講科目

